

高機能ダッシュボードでの

EspressReport® ES

Free Development resources and
Empower end users with
Intuitive point-and-click,
Drag-and-drop interface
Zero training

始めに

現状の世界的なビジネス競争環境で、企業はビジネス戦略、経済上の最新情報とビジネス・パフォーマンス・マトリックスをベースにした実施し、そして素早く動き、調整し、手直しの必要に駆られています。経済データがニュース・メディアで提供されている間、企業はビジネス・パフォーマンスの状況のモニターリングをデータベース格納庫から分りやすいマトリクスとレポートに変換できるビジネス・インテリジェント(BI)ツールを必要としています。EspressReport[®]ES (ERES) はいつでも、どこでも意思決定をサポート・分析のための PKI (Key Performance Indicators; 重要業績評価指標)をモニターするビジネス分析用のツールです。

EspressReport[®]ES の Dashboard Builder はシンプルで、シンクライアント型で、ドラッグ・アンド・ドロップ/ポイント・アンド・クリックなインターフェイスにより、IT や開発リソースを使用しないでテクニカルな経験のないユーザが簡単にプレゼンテーション品質の KPI ダッシュボードを作成することができます。作成されたダッシュボードは直ちに企業内のユーザに配信されます。

主な機能

ERES のダッシュボードはダイナミックで、フルに実施可能です。パネルにスタティックなチャートやレポートを表示できるだけの他社のダッシュボードとは違って、ERES のダッシュボードは高度なインタラクティブ性を持っています。主な特徴的な機能は次のようになります。

シェアード・パラメータ

パラメータが付属するレポートとチャートはダッシュボード上で別のパラメータ値を使用して個別に稼動することができます。ユーザはダッシュボード上でフィルタされたデータを使用してレポート/チャートがリフレッシュされたか確認するためにシェアード・パラメータ用に1セットの値(バリュー)を提供することだけが必要なように、シェアード・パラメータに追加して設定できます。

シェアード・パラメータを展開し、ユーザがパラメータ値を入力するオプションはいくつかあります。

- 1) もしレポート/チャートでオリジナル・パラメータがマップされていない時はパラメータに値を単純にタイプします。
- 2) もしパラメータがデータベース、ファンクション、セレクト・ステートメント、またはユーザ指定にマップされている時には、パラメータ・バリューはシングル・バリュー、またはマルチ・バリューに関わらずボックスのリストから選択することができます。

Shared Parameters:

Category Name: Arm Chairs

Select Region: East, Midwest, South, West

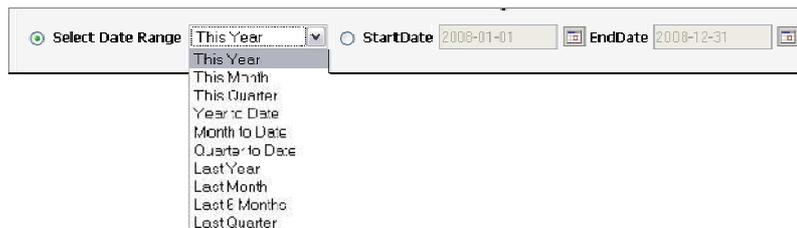
Min Quantity: 1

OK Cancel

- 3) もしパラメータがデータベース、ファンクション、セレクト・ステートメント、またはユーザ指定にマップされ、そしてパラメータ用の特別なバリュー数値が制限されている時には、これらのバリューは(もしマルチ・バリューであれば)ラベル、イメージ、ラジオ・ボタン、チェック・ボックスとしてリストされます。

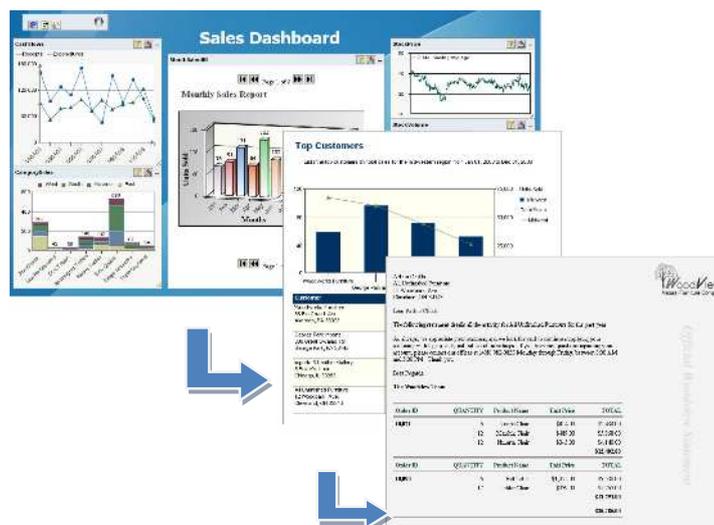


- 4) 範囲変数は同じフィールド用にパラメータの対(ペア)にアサインすることができます。最も一般的なアプリケーションは日付範囲の設定です。例: 日付の開始と終了。日付範囲変数の初期設定セットが準備されていて、ユーザは「今日」、「昨日」、「先週」、「先月」、「当月の初めから今日まで」、「昨年」、「前四半期」などから選択することができます。



無制限のドリルダウン

ドリルダウン・リンクはチャートとレポートのデータ・ポイントに設定でき、ユーザは特定のデータ・ポイントについて詳細情報へドリルダウンが可能です。レポートとチャートは独自のドリルダウン構造を持っているので、ドリルダウン・レベルの数には制限はありません。



エレメントへのリンク

レポートとチャートへのドリルダウン設定に追加して、ダッシュボード上の他のエレメントへのリンクを設定することも可能です。ユーザがチャートやレポートのデータ・ポイントをクリックした時に、ダッシュボード上の複数のチャート/レポートは最新のフィルタ済みのデータでリフレッシュされます。



フォルダ

ERESのダッシュボードはフォルダを含んでいます。ユーザはダッシュボード内のフォルダでレポートとチャートをグループ化できます。それゆえ、ユーザはダッシュボードにさらに情報を詰め込むことができます。これらのフォルダ内のレポートとチャートは完全に独立しています。レポートとチャートは別々のビューで同じデータを表示することができます。例：同じデータで、違ったビューで違ったチャートタイプとレポート。



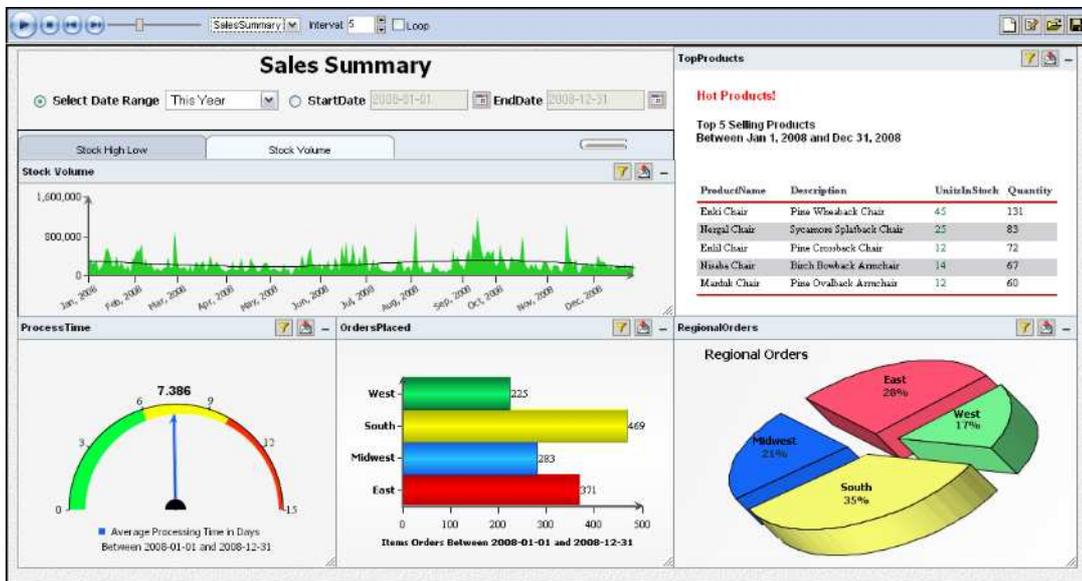
自動リフレッシュ

ユーザはダッシュボード上のエレメントのリフレッシュ間隔を設定でき、周期的に新規データにリフレッシュされます。



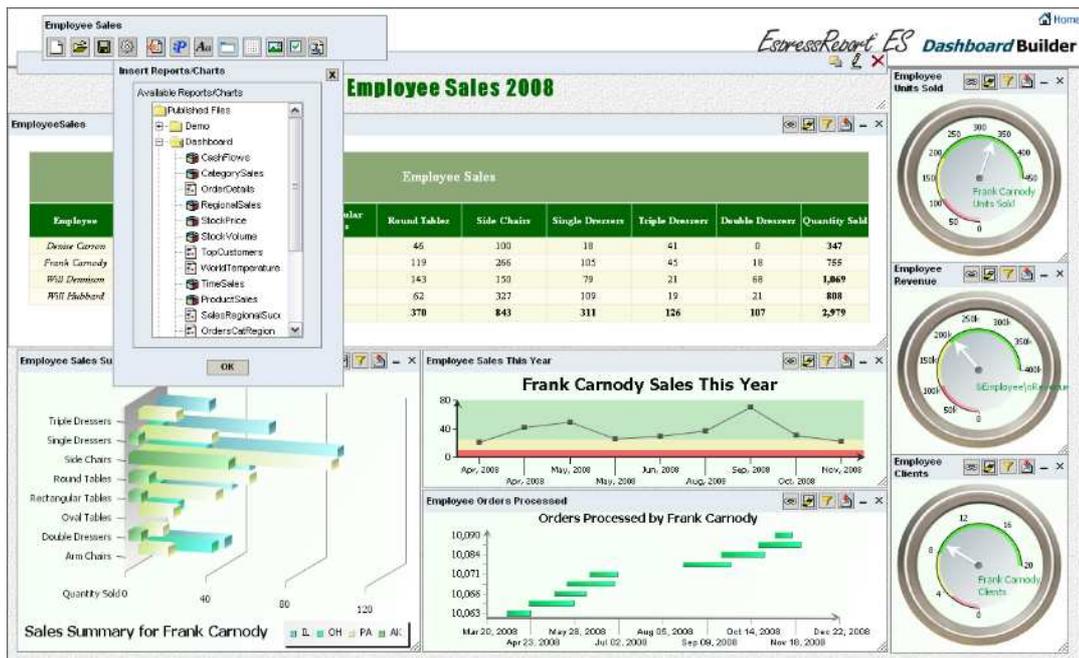
スライド・ショー

ユーザは ERES のダッシュボードのグループを選択し、スライド・ショーの実行が可能です。これは KPI (キー・パフォーマンス・インジケータ) の経営情報を強化する素晴らしい方法です。

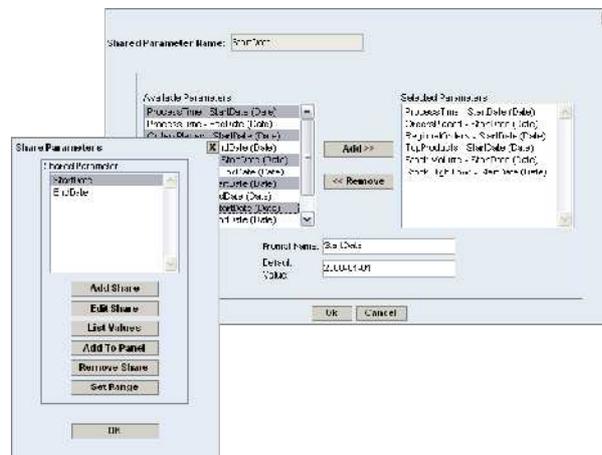


Dashboard Builder

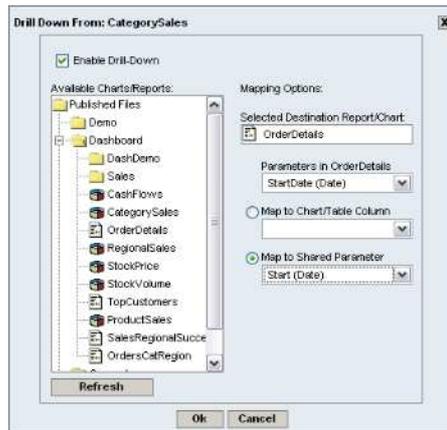
ERES ダッシュボードのコア機能は Dashboard Builder です。ダッシュボードを作成するには Organizer から可能なチャートとレポートを単純に追加します。



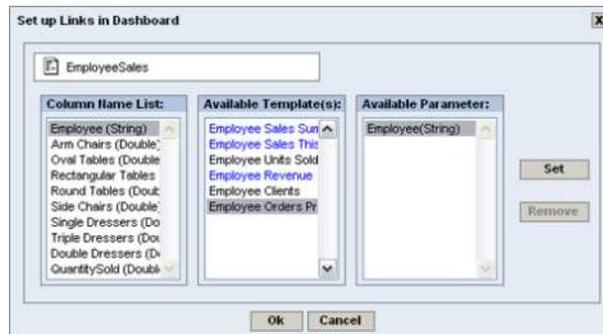
ダッシュボードにレポート/チャートを挿入すれば、同じバリューを共有できる類似パラメータを持ったいくつかの要素を提供する共有パラメータを設定することができます。パラメータ・レイアウト・オプションは上位になります。



エレメントにチャート/レポートへのドリルダウンを追加するには、単純に「add/modify DrillDown」ボタンをクリックします。ドリルダウンにパラメータがマッチするチャート/レポートを選択します。選択したチャート/レポートが別のパラメータを持っているなら、ユーザは共有パラメータにマップする必要があります。



エレメントにリンクを追加するには「add/modify link」ボタンをクリックします。ダッシュボードにパラメータ化されたレポート/チャートがあれば、「Available Templates」パネルに表示されます。リンクさせるためにマッチするパラメータでそれらを選択することができます。



ダッシュボードのルック・アンド・フィール機能は高度なカスタマイズが可能です。ダッシュボードにラベル、バックグラウンド色、バックグラウンド・イメージを追加することができます。テキスト・フォント、サイズ、カラーもカスタマイズ可能です。パラメータ・パネルは同様にカスタマイズ可能です。



ディプロイメント

Organizer にダッシュボードを一旦保存することで、ERES の Menu Page で直ちに発行可能です。ダッシュボードへの URL はまたユーザ自身の web ページでも発行するように生成することができます。スライドショー機能を使用したディプロイメントはダッシュボードに発行するまた別の方法です。

結論

EspressReport[®] Enterprise Server (ERES)は EspressReport[®]の pure Java レポート・エンジンの機能を活用した堅固で、集中型のレポート・アーキテクチャを提供し、エンタープライズへ拡張したものです。組込まれた自動レポート配信機能、エンドからエンドで、ユーザ/データ・セキュリティ、高度なアドホック・クエリと分析機能、スケーラブルな pure Java アーキテクチャで競合に差を付け、IT 開発努力を必要とせずに、幅広いビジネスユーザ参加者に情報量のある KPI ダッシュボードの作成と配信を簡単にできる理想的なプラットフォームを提供します。

詳細については www.climb.co.jp/soft/ と www.quadbase.com を参照ください。

Copyright © 2008 Quadbase Systems, Inc. All rights reserved. EspressReport is a registered trademark of Quadbase Systems. All other trademarks belong to their respective owners. 翻訳©株式会社クライム